

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 5月 16日公開
カナダ・トロントより

(日本時間 2018年5月17日午前9時～)

皆さん、カナダのトロントより、シャローム、こんばんは！アメリカに行くために、カナダ空港を利用したため、ここカナダに到着して、これから二日間滞在します。その後、オハイオ州のシンシナティで、週末、預言カンファレンスに参加して、それから日曜日はカルバリーチャペル・シンシナティで話をします。

今夜は、イスラエルとトルコとの間で起こっていることについてお伝えしたいと思います。皆さん、すでに聞いておられるかも知れませんが、ご存知ない方には、私がお話します。それから、ガザでの暴動、デモの舞台裏についてお話します。皆さんの多くが、恐らく何も聞いておられないでしょう。そして、イラン協議撤退の波及効果について、イランだけでなく、すでに起こっている他の国への影響についてお話します。

では、まずはこの48時間の間にイスラエルとトルコとの間で始まった大危機についてお話します。皆さんご存知の通り、トルコはレジェップ・タイイップ・エルドアンによって支配されています。これは、イスラム同胞団のトルコ版です。彼らは、エジプトのムスリム同胞団と、ガザのハマスとも同胞です。そこで彼は、ハマスから助けを求められました。なぜかと言えば、世はすっかり変わってしまって、ガザで起こっていることに関して、それからハマスも、パレスチナ問題を再び前に押し出そうとしましたが、今回、世は、ハマスのペテンを信じません。世は、ヨーロッパをはじめ、ハマスがイスラエルを攻撃するという自分の目的達成のために、一般市民を使っている事を非常に危惧していて、続いてアメリカも、この件に関して非常に強くイスラエルの側に立っています。さらには、ロシアの外務大臣セルゲイ・ラブロフまでが、今日、「ロシアは、過激派（これはもちろん、ハマスの事）がイスラエルを攻撃するのに一般市民を使い、それによってエスカレートさせている事を、非常に危惧している」と述べました。



セルゲイ・ラブロフ露外務大臣

ですから、パレスチナ、ハマスのために何かをしている唯一の人物は、エルドアンです。そこでエルドアンは、前代未聞のツイートと、演説の中でイスラエルをテロ国家と呼び、言葉で応酬しました。さらには、「イスラエルがエルサレムを占領し、ムスリムから取り上げることは許さない」とまで言いました。

よく注意してください。彼は、エルサレムとハマスを関連付けようとしているのです。今の時点で、ハマスが求めている事は、エルサレムとは一切関係がありません。



エルドアンのとウィッター

この日は、「ナクバの日/大惨事の日」でした。そこで彼らには、イスラエルに潜入するための、実に詳細な計画がありました。彼らは、イスラエル軍基地と一般市民の居留地へ、一番簡単に入れる行き方の地図を見せ、どのようにしてそこに入り、さらには、どのようにして惨殺するか、もしくは誘拐するかを示していたのです。エルサレムとは一切関係ありません。

国土全体を乗っ取るため、ユダヤ人をここから追い出すためです。

ここは、彼らのものではありません。彼らは、ここに属していません。

私は、ガザのことを言っているのではありませんよ？我々は2004年に、すでにガザを撤退していますから。イスラエルのことを言っているのです。1967年以前のイスラエルです。

「パレスチナ人は、中東平和のために西岸やガザ地区を求めている。」

というコンセプトは、間違ったコンセプトです。彼らは、我々全員を追い出すか、皆殺しにするかして、国全体を乗っ取るまでは決して休みません。彼らは、ずっとそれを言い続けていますが、世界はそれを聞こうとはしません。

「どうしてハマスと交渉しないのか？」

と聞かれます。それから、そういう人たちは言うのです。

「ほら、北朝鮮とアメリカは対話しているじゃないか！」

アメリカは、北朝鮮を滅ぼそうとはしていませんし、北朝鮮もアメリカを滅ぼそうとはしていません。ここにあるのは、核兵器に関する争い。それだけです。もし、北朝鮮が核解除すれば、アメリカは彼らに対して何もしません。

我々が対応しているのとは、レベルが違います。

我々の相手は、我々を完全に滅ぼしたい人間の集団です。我々が核兵器を持っていようとなかろうと、そんな事とは関係ありません。

我々が、この国で生きていること自体が、問題なのです。

これは大きな違いです。実際、興味深い事に、東エルサレムのパレスチナ人たちは何もしていません。西岸地区のパレスチナ人たちも、何もしてませんでした。彼らも何かが出来たのに、誰も何もしなかったのです。彼らは、これは戦う問題ではない、これはハマスが、膨大な数の死者数を出して、自分たちがまだ存在している事を世界に証明しているに過ぎない、ということを理解しているのです。

皆さん、トルコはこの状況を利用しようとしています。

その理由を説明しましょう。

これは、トルコ国内で起こっている事と無関係ではありません。トルコの大統領エルドアンは、現在、自分の国内にあっても、あまり人気がありません。

数日前、彼は

「もし、トルコ国民が『もうたくさんだ！』と言うのなら、私は去る」とまで言いました。

すると、信じがたいかも知れませんが、200万人がインターネット上で

「もうたくさんだ！」

と答えたのです。

彼は物凄く恥をかき、非常なショックを受けました。

彼は、自国民が自分に向かってそう言っている事が信じられませんでした。

その理由をお伝えしますと、トルコの通貨リラは、2015年12月から今までの間で暴落し、その価値が半分以上に下がりました。彼らの通貨はほとんど役に立たず、失業率は高く、彼らは今、大変なことになっています。トルコ人たちは、何らかの問題対策が必要なのです。トルコは、サウジアラビアとの同盟関係も失っています。

そこで、面白い事に、今日、イランのロウハニーがトルコの大統領に

「あなたと私で、パレスチナ問題に対処するために、我々は軍隊を共にするべきだ」

と言いました。

皆さん、屈辱を受けたイランと、屈辱を受けたトルコが、彼らの国の、彼ら自身の問題のために、今や親友になっているのです。

次に、実際に起こっている事を見てください。

トルコ政府は、自分たちの大使をイスラエルから呼び戻しました。

イスラエルもそれに応えて、自国の大使をトルコから呼び戻しました。

それからトルコは、非常に卑劣なことを行ないました。

イスラエルの大使には、外交官の特権があり、それは空港でも行使されるべきものです。ところが、彼がイスタンブールのアタチュルク空港に行くと、トルコは数々のメディアを招いて、全カメラの前で彼を侮辱するために、ポケットから靴の中から、全てを調べたのです。その後イスラエルが、それについて事情を聴くために総領事を招くと、トルコもアタチュルクの総領事に同じことを行ないました。

皆さん、理解しておいてください。

スルタン・エルドアンは、この状況のために、早期選挙を命じています。彼の経済はグラグラですから。そして今度は、自国で自分の首を守るため、ムスリム界と再び繋がろうとしています。

これが実際の状況です。

トルコとイスラエルは、友好国ではありません。

以前はそうでしたが、今はもう、違います。

「イスラエル人は、イスタンブールの町を歩くな！」

と彼らは言いました。

事実、今朝イスタンブールに到着した乗客に、フライトアテンダントが「歩く標的になるから」と、ヤムカを取るよう言いました。

それから今日は、イスラエルのテレビ局のスタッフが、今の状況に関してトルコ人にインタビューしている時に攻撃を受け、その後、同じテレビ局のスタッフが警察署に拘留されました。つまり現在、トルコ政府に扇動されて、前代未聞の激しい憎しみの波が、トルコのムスリム界から押し寄せているのです。彼ら自身の問題が高まって来ると、イスラエル人を容疑者にして憎ませるのが、最も容易なやり方ですから。

これが現在、トルコで起こっている事です。現在、イスラエルとトルコの間で危機が起こっています。

イスラエルが、ガザ地区で60人を殺した、と誰もが言っていますが、次はそれについてお話ししましょう。

ガザ地区で60人。皆さんも、この死亡者たちの名前を見れば分かります。私たちが分かった時には驚きましたが、彼らのほとんどがテロリストでした。しかし、ハマスの指導者たちが、自らパレスチナのテレビ局に言うまで、我々は何も言いませんでした。彼らは、自分たちは女性や子どもを送っているのではなく、自国民を送っているかのように、パレスチナの人たちに見せたいですから。そこで彼らが言った事は、基本的にはこうです。

「60人の死者のうち、少なくとも50人は自分たちの所のテロリストだ。」

皆さん、考えてみてください。

4万人の人、女性、子どもたち。タイヤを燃やした煙、催涙ガスがそこら中を覆っています。4万人の民間人が、攻撃してくるのです。そこで、イスラエル人が襲撃した60人の内、50人は武装したテロリストです。

4万人の人の中から、テロリストだけを捕らえて殺すことの出来る軍隊が、地球上のどこかにあるでしょうか？皆さん、お分かりですか？我々が言いたいのは、これに関してイスラエルは褒められることはあっても、攻撃されることはない。これらの人々の全員ではないにしろ、大半が実際イスラエルを襲うために出て来ているテロリストなのですから。彼らは武装し、イスラエルでテロを行うことに献身しているのです。それが事実です。しかし世は、理解していません。

我々があの国境沿いに最高の襲撃隊を置いているのは、この状況のためです。我々は、ハマスの計画を、何週間も前から知っていますから。我々が捕まえた、数人のハマスのスタッフが洗いざらい喋ったため、我々は全てを知っています。彼らが何を言い、どのようにして人々を勧誘しているか。モスクの外、学校の外、家の外に何台ものバスがある事。女性たちには、来て前線に立っても、イスラエル人は女性は撃たないから心配しなくても良い、と言い、子どもたちには、イスラエル人は子どもは撃たないから、どんどん遠くへ入って行け、と勧誘しているのです。

事実、ハマスが自国民に認めているのです。

「イスラエル人たちはお前たちを撃たない。だから、テロリストが後ろに隠れられるように、お前たちが前線に出るんだ。」

彼らは自国民にそう言っているのです。

我々は、彼らの中の複数人を捕まえましたが、彼らがそれを認めているのです。

しかし、それだけでなく、彼らはお金を受け取って、来ていることも認めました。

彼らにとって、それは仕事なのです。

そして、これら全ての事が起こる中で、これがエスカレートして戦争になるのではないか、という恐れが生じています。

そこでエジプト政府は、これを終わらせることを決意し、はるばるガザ地区までヘリコプターを送り込みました。そのヘリコプターは、ハマスの指導者であるイスマイル・ハニーヤと彼のボディガード2人を拾うことになっていて、ハニーヤは、自分のためにヘリコプターが送られ、はるばるカイロに飛ぶなんて、自分はVIPだと思っていました。



イスマイル・ハニーヤ

彼がカイロに着いた直後、彼のボディガードは入ることを許されず、彼はエジプトの軍諜報機関のトップの所へ連行されました。そこで彼らは、彼に向かって怒鳴り散らしたのです。

「お前たちの人々の血の責任は、お前の手の中にある！」

「お前が、初日からこれを統率している。我々のところには、複数の証人がいて、お前がお金を払っていることも、お前がどのようにこれを行なったかも知っている。」

「お前が死者数を増やそうとしていることも知っている。そして言うておく。イスラエルはお前たち指導者を殺すが、我々はそれを止めない。当然の報いだ。」

「もし死にたくないのなら、お前は戻って、直ちにこれを止めろ！」

こうして彼は屈辱を受け、またヘリコプターに乗ってガザ地区に降り立ち、

「止めて、ここを立ち去ろう」

と皆に言いました。

それから、彼らはテントを片付け、野外病院や全てをたたんだのです。

その翌日は、最大の暴動が起こるはずでしたが、登場したのは4,000人。

もはや、4万人でも2万人でもなく4,000人。そして、何も起こりませんでした。

皆さん、エジプトです。

彼らは、パレスチナのハマスに対して大激怒しているだけでなく、世界に対して、実際に起こった事を知らせ、彼らがパレスチナのハマスに伝えたことを知らせたのです。

皆さん、ハマスが行なった事に対して、エジプトが激怒しています。

世が、ガザでの“大量殺戮”を批判している間に、本当には誰が誰を大量殺戮しているか、お知らせします。

それは、ガザ地区のパレスチナ指導者、ハマスの指導者が自国民を大量殺戮しているのです。彼らは、他でもなくテロリストを武器や爆破物、手榴弾などで武装させ、イスラエル兵士は、兵士なら誰もがすべきこと、自国民を守るためなら、どの国のどの政府でも行うべき事を行なったまでです。ちなみに、悪を行う者に報い、

国民を守るのは政府の義務であると、ローマ人への手紙 13 章が告げています。念のために言っておきますが、これはクリスチャンでも同じです。これが実際に起こった事、あちらで起こった事の舞台裏です。私は、イスラエルの軍隊は、世界で最も道徳的な軍隊だと思います。4 万人の民間人に攻撃されながら、群衆の中からテロリストだけを殺すことの出来る軍隊が、他にあるとは思えません。これは前代未聞、信じられないことです。とても興味深い事に、人々にお金を約束した、あの同じハマスが、今はお金が払えなくて困っているのです。民間人のほとんどが死なず、ただ怪我をただけですから。イスラエルは、民間人を殺さないように、細心の注意を払いました。そこで皆が支払いを求めている、ハマスは行き詰っているのです。彼は、何千人もを前に行き詰っています。少なくとも 1,500 人は怪我人がいて、ハマスには、彼らに払うお金がないのです。ところで、この全貌を計画するために投入されたのは、イランのお金です。ですからイランは、シリアやレバノン、イラクやイエメンでこのような不安定を招いているだけでなく、イランはその手先であるハマスにも、問題を起こさせようとしているのです。

ここからが非常に面白いのです。

皆さん、先週、イスラエルがシリアで攻撃したのは、覚えていらっしゃるでしょうか？

また、あれが 1974 年以来初めての、最も包括的で非常に大規模な攻撃であったことも、皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか？

それから、あれはネタニヤフが、モスクワでのヴラディミール・プーチンとの会談から戻って数時間後に行なわれたことも覚えていらっしゃるでしょう。

そこで、ある事をお伝えしますと、イスラエルは、我々がイランの問題に対処することを、もし、ロシアが認めるなら、我々はアサドには手を出さない事を、ロシアに約束しました。ロシアは、シリア国内にいるイランの事など、何とも思っていない。彼らにとって大事なものは、自分たちの海軍基地を維持し、自分たちの利益であるガスと石油を守るために、バッシュアル・アル=アサドが権力を握り続ける事です。そこでロシアは、

「それなら代わりに、ハマスに自分たちの仕事を行なわせよう」

と言い、すると今では、ロシアがハマスの行動を批判し始めました。それが、イランに対する明確なメッセージとなったのです。

「お前たちは、南の手先ハマスを試したが、北の手先ヒズボラは試すなよ。それは悲惨な結果になる。我々はお前の援護はしない」

そこでヒズボラは、今は自分たちに何も出来ない事を理解しました。

ということで、ハマスは敗北し、イランも敗北しました。

そして、ここからが面白いのです。

トランプ大統領は、イラン協議からの撤退を発表し、直ちに制裁を加えました。

信じがたいかも知れませんが、様々な事が起こっていて、その波及効果はすでに始まっています。フランスの石油会社トータルは、イラン政府と何十億ドルという契約を結んでいましたが、彼らは、その契約の全てを停止しました。それはもはや消滅しました。現在、非常に多くの契約が停止されていますが、それが最初でした。イランは激怒していて、ヨーロッパに言っています。

「アメリカの撤退によって、我々との取引を決めた会社の埋め合わせは、お前たちがしなければならない。」

ロシアは、すでにイランに対して

「あなたがたが期待した通りに、資金を受け取るよう協議を修正することは、私たちには出来ない。」とサインを送っています。

イランは、たとえ他の残りの国々が協議に留まったとしても、この協議からは、自分たちが希望した通りの資金を受け取れない事を理解しています。

ですから、現在あるのは、何十億ドルと失ったイランと、イランとの契約を失ったロシア。イランには、武器や何かを買ってロシアに支払う資金がありませんから。

ヨーロッパもお金を失いました。彼らは現在、イランと取引していませんから。

それから、ハマスは敗北しました。

そして、トルコ経済はグラグラです。

ですから、我々は今、非常に興味深い状況を見ているのです。トルコの経済は非常に悪く、アメリカがイラン協議から撤退したため、イランもロシアも、両方ともが何十億ドルと失っています。だから、この3経済は、何らかの救い、何らかの対策が必要です。そして、イスラエルを攻撃することが、唯一、これに対する答えだろうと彼らが気付くのは時間の問題です。

このように、最終的には石油やガス、経済である事、全ては経済のためであることを、皆さん理解しておいてください。

それが世界の一部を動かし、揺さぶり、そして戦争、戦争のうわさを生み出します。

私たちは今、それを見ているのです。

現在、かなり面白い状況を、私たちは目にしているのです。

イスラエルの中では、良い知らせがはっきりなしに届いています。

非常に素晴らしいアメリカ大使館の開館式がエルサレムで行われただけでなく、今日はグアテマラ大使館の素晴らしい開館式が行われました。

アメリカのイラン協議撤退によって、イランがほぼ崩壊しているだけでなく、イランの核公文書の全機密を我々が暴露しただけでなく、我々は、彼らの鼻先にあったその全てを、はるかエルサレムまで持って来て、全世界の前で公然と、彼らに恥をかかせたのです。我々は、我々の用を済ませただけでなく、それによって、イランのシリア駐留を二年分後退させました。それだけでなく、我々は、ハマスがテロリストを送っている事、彼らは巨大なペテン師である事、彼らの数々の欺きを証明しました。ちなみに、私は、ハマスが送っていた、荷台いっぱいの死体が積まれた、何台ものトラックの動画を観ましたが、その中で、死体のいくつかは動いているのです。彼らは、お金をもらって、死体の役を演じていたのです。彼らは白い袋に包まれていましたが、生きていて、ある者などは肩が痒かったようで、皆が動画を撮っていることを知らずに掻いていたのです。このように、世が目にしていく欺きのレベルは、かなりのものです。一人の男は、まるで障害者が抗議しているかのように見せかけて、二本の松葉杖を使って歩いていたのが、襲撃兵たちが射撃を始めた瞬間、彼は松葉杖を放り出して全速力で走り出しました。この男は、元から障害者ではなかったのです。もう一つは、二歳の子どもが催涙ガスで殺された、と彼らは言いましたが、実は彼女は、何週間も前に心不全を起こしていたことを、イスラエルが証明しました。我々がその報告を聞いたのは、当時彼らが、その子をイスラエルに連れて来ようとしたためです。それを彼らは、その子の死は医療問題ではなく、イスラエルが催涙ガスを使ったためだと言

って、我々を非難しているのです。彼らは、次から次へと色々なことを試しますが、どれも全く上手く行きません。

しかし、我々が彼らを暴露した事、我々がイランを叱責した事、さらにはアメリカ大使館や、他の国の大使館がエルサレムに開館したこと、それだけでなく、さらに今日、飛び込んできた良い知らせは、イスラエル経済がヨーロッパの三倍の速さで成長しているとのことです。成長率は4.2%、2017年最後の四半期は4.4%、2017年第三四半期は4.1%でした。我々は西半球で最も早く成長している経済の一つです。それだけで足りなければ、イスラエルのGDP（一人あたりの国内総生産）は、4万アメリカドルを超えました。我々はイギリスを超え、フランスを超え、日本を超えて、間もなくドイツを追い越します。

皆さん、私たちの経済は非常に順調です。

つまり私が言いたいのは、これまでもずっとと言って来ましたが、聖書によればエゼキエル戦争が起こる時、——聖書には、エゼキエル書の中に、大きな戦争が起こることが書かれていますが、さらにエゼキエルは興味深い詳細を伝えているのです。そのとき、イスラエルは安全、安心で繁栄している、と（エゼキエル書 38:8 参照）。

イスラエルが強いのは、軍隊ではありません。

イスラエルは安全ではない、とあなたがいくら主張しても、ここは超安全です。

我々には超最強の軍隊があって、ハマスが挑んでも、何も出来ません。

イランが挑んでも、何も出来ません。

ヒズボラも試みますが、何も出来ません。

国々とテロリストが現在、イスラエルを恐れているのです。

それは力であって、弱さではありません。

それは、他の何でもなく、安全です。

ですからイスラエルは安全、安心で、非常に繁栄しています。

強いて言えば、イラン経済はグラグラ、

トルコ経済もグラグラ、

ロシア経済もグラグラです。

ですから彼らには、我々を攻撃する材料が全て揃っていて、我々には強くなるためのあらゆる理由があって、これこそが、私が「嵐の前の静けさ」と呼んでいるものです。

聖書は、エゼキエル戦争が起こると予見していますが、それは、イスラエルを覆う雲のようになる、と告げています（エゼキエル 38:9 参照）。

暗雲。

ちなみに私が思うに、これは現代の戦争では、基本的にはロケット攻撃です。何千発という数のロケットが、イスラエル周辺から、ヒズボラであれ、ロシアであれ、イランであれ、シリアであれ、あらゆるところからロケットが飛んで来て、イスラエルはそれに直面します。そしてそのロケットを、主が逸らされるように、他にも非常に多くの場面で、神が介入してイスラエルの代わりに戦う、と、神はエゼキエルを通して、全世界に告げておられるのです。だから、そのロケットの雲は、奇跡的に様々な形で引きずり落とされるのだと、私は思っています。ですから、私は今起こっていることを見ながら、現在我々は、すでにエゼキエルの最初の節に突入していることに驚いています。これは、物凄い事です。

最後に、もう一つお伝えしたいのは、これもまた重要な事で、皆さん、誤解されない事を願いますが、——イスラエル人たちは、トランプ大統領の動きと、彼の支援に驚愕しています。イスラエル人たちは、イスラエル国内だけでなく、イランやハマス、ヒズボラに起こっている事、朝鮮半島で起こっている事さえ、全部を見ているのです。そして、ホワイトハウスにいるトランプ大統領の存在と彼の決断が、全く新しい考えをもたらし、全てを変えた事実を、イスラエル人たちは理解しています。これは完全なるゲームチェンジャー、流れを変えるものです。私たちにとっては、素晴らしい事です。これから私が伝える事を、皆さんが間違っただけで引用しない事を願います。どうか、最後まで聞いてください。それから説明しますから。

イスラエル人たちのソーシャルメディアを、この48時間の間、私はずっと見て来ましたが、イスラエル人でさえ

「今は、メシアの時代だ」

と言っています。中には

「トランプは“ミニ・メシア”だ」

とさえ言う人までいます。

ここでよく聞いてください。皆さんがこれに飛びついて、

「ワ～オ！イスラエル人が、反キリストを受け入れているのかも知れない！」

「彼かも知れない！」

という前に、ある事を説明したいと思います。それは違います。何故違うのか？

もし、イスラエルのエルサレムに対する主権を認める者に対して、イスラエル人が“メシア”という言葉を使ったとしても、彼が、リベラル全員に憎まれているなら、イスラエルの中でもそうです。リベラルはリベラルですから。想像してください。ヨーロッパの指導者のポリティカルコレクトされている者、さらには、リベラルからも愛されている者が、ただ、エルサレムがイスラエルの首都だ、と認識するだけでなく、——これはもう既に終わった事です。彼は、神殿の丘に、神殿を建設することを認めるのです。その時には、彼らはその将来の指導者に対して、もはや隠すこともなく、漠然とでもなく“メシア”という言葉を使うでしょう。もし、今日のイスラエル人たちが、今、目にしている事から“メシア”という言葉を手で使っているのなら、もし神殿の丘に、新たな神殿が建った時には、その言葉が国全体でどれほど受け入れられるか、想像出来ませんか？信じられません。

イスラエルの状況が、戦争に向けて整えられていくのと同時に、——つまり、イスラエルは安全、安心で、嵐の前の静けさです。そして、それと同時にイスラエル人たちの心も、反キリストを受け入れる用意が出来ているのです。というか、もし彼がエルサレム以上のものを与えるなら、神殿の丘自体まで与えるなら、彼らにとってそれは“メシア”です。かなりすごいことです。

それを私たちは、ここで戦争の準備が整うのを見ていて、多くのイスラエル人の心が、「イスラエル人を支持し、神殿を与える指導者」を受け入れようとしているのを、みているのです。

ここで私たち、神の子ども、神の家族、教会、信者として、超ワクワクします。私たちの贖いが、確実に近づいていますから。信じられません。

私たちが目にしているのは、歴史的な出来事以外の何ものでもない事、信じがたいこと以外の何ものでもない事、驚愕以外の何ものでもない事を、皆さんが理解しておられることを願います。私たちは、まさに目の前で

中東の用意が整っていく様子、ヨーロッパの準備が整っていく様子、それからユダヤ人の心までも準備が整っていく様子を見ているのです。これは、信じられないことです。

これらの事から、私に言えるのは、私たちに残された、ここでのわずかな時間で私たちは何をするのか？
何もしないで過ごすか？

それとも、出て行って福音を伝えるか？

そして、世に伝えるのです。

アダムが失敗し、人類に罪が入り込んだ。

そこへ神が解決策を与えてくださった。

しかしそれには、メシアを信じる信仰が必要である事、永遠のいのちを持つためには、全額を支払ってくださった方を信じなければならない事。永遠のいのちが、信者全員にとっての希望である事。

私たちが生きるためには、まずは私たちがここから出なければなりません。そうすれば、神が、この世を裁くことが出来るのです。

それから私たちは、彼とともに統治するため、ここに戻って来ます。

それは素晴らしい事、物凄い事です。

ということで、私たちは物事が起こるのを目にしている、私はニュースを見るたびに驚愕しています。

ところで、この数日のうちに、イスラエルがもう一度シリアを攻撃するかも知れません。またしてもテヘランから、新たな強い武器やロケットを積んだ貨物機が飛んで来ているのを、私たちは目撃していますから。今日、ベニヤミン・ネタニヤフが

「我々は、イランの地位確立から、自身を守るために必要な事は何でも行う。」

と言いました。彼がこのような事を言う時はいつも、基本的には行動が伴いますから。我々は、今の歓喜の中とか、もしくは誇り、おごり高ぶりの中にあるように見られたくはありません。

つい最近起こった出来事は、あまりにも素晴らしすぎることは、私たちも理解しています。皆、これは神のご介入があつての事だと理解しています。

物凄い世的なメディアが、一般的なイスラエル人とやり取りしているのを見ましたが、

「神の介入」とか「メシアの時代」とか、今こう言った言葉がたびたび使われているのです。これには、驚きです。

しかし私たちにとっては、

- ① まずイスラエルに言いたいのは、これに安住してはいけません。これはただの嵐の前の静けさだからです。
- ② 私たち信者に言いたいのは、神がこれまでになかったほどに動いておられるのを見て、励まされようではありませんか。そして、残された短い時間の中で、私たちは従事しなければなりません。

私たちは城壁の見張り人として、一方では人々に警告を与え、もう一方で、人々に良い知らせを伝えましょう。

だから私は、非常にワクワクしているのです。このために私たちは今、ここにいるのです。彼はとっくの昔に、私たちを連れて行くことも出来ました。

しかし私たちには仕事があるのです。

私たちには仕事があつて、彼が私たちを迎えに来られるまで、私たちがここにおいて、私たちがすべきことを行

ない、ここでの私たちの目的を果たすことを、主は望んでおられます。ですから、皆さんはどうか分かりませんが、私はワクワクしています。

以上がアップデートです。

私はこれから、太平洋時間の午後7時半ごろに、ここトロント、東海岸時間では午後10時半ですが、Pastor Jack HibbsとPastor Don Stewartの「What's Happening Now/何が起きているのか？」に電話で出演します。ですから、Galvary Chapel Chino Hillsのウェブサイトで、皆さんもぜひご視聴ください。彼らは素晴らしい神の男たちですから、皆さんも祝福されることは間違いありません。

では、最後にお祈りして終わりましょう。私たち全員の上に、アロンの祝福を祈ります。どうぞ、ウェブサイトよりニュースレターを登録してください。それからユーチューブチャンネル「Behold Israel/ビホルドイスラエル」をチャンネル登録してください。インスタグラムをフォローしてください。素晴らしい写真がご覧いただけます。「beholdisrael」です。それからもちろん、ツイッターもお願いします。

では、祈りましょう。

	ヴェイシェメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיִתְנֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יֵאָר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与られますように。

(民数記 6:24~26)

私たちのあらゆる理解を超える平安、平安の君が、今も、いつでも、どこにいても、あなたに平安を与られますように。イエスの御名によって。アーメン！

アーメン！

ありがとうございます。カナダのトロントより、God bless you! シャローム！

土曜日の私のメッセージがライブ配信されます。東海岸時間のシンシナティ時間で、土曜日の午後二時です。HisChannel.comで預言カンファレンスがライブ配信されますので、皆さんもぜひご覧ください。Pastor Barry Stagner と、それからシンシナティのPastor Rick もメッセージされますし、シンシナティの Sharonville Center に大勢の人が集まると思います。

ということで、皆さん、God bless you!

トロントより、シャローム！

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

セルゲイ・ラブロフ露外務大臣 : Wikipedia「セルゲイ・ラブロフ」

エルドアン of ツイッター : 5月16日のツイッターより（「ネタニヤフへ注意：ハマスはテロ組織ではなく、パレスチナ人はテロリストではない。占領大国に対して、パレスチナの国土を守る抵抗運動である。世界は、彼らの抑圧に対して、パレスチナの人々と連帯して立っている。」）

イスマイル・ハニーヤ : Wikipedia「イスマール・ハニーヤ」